令和５年９月20日
第６号

# 想定外の想定

校長　石ヶ森　孝順

９月12日（火），荒天による下校時の安全確保について，まちこみメールを通して連絡させていただきました。下校の時間帯は，比較的穏やかな空模様でしたが，集団下校は，いざというときのための練習にもなりました。本年度は，幾度となく，自然災害等で児童の安全が心配される場面がありました。その度に，保護者の皆様による，整然とした秩序正しいご協力をいただいており，改めて感謝申し上げる次第です。

４月登校時　…　北朝鮮から発射されたミサイルによるＪアラート　→【注意喚起】
５月下校時　…　石狩川付近の熊の目撃情報　→【一斉下校】
７月登校時　…　激しく雨が降っている状況　→【注意喚起】
８月下校時　…　熱中症の危険が心配な状況　→【午前授業】

旭川市は，自然災害が少ない都市として知られていますが，決して安心はできません。平成16年８月の台風では，市内各地で倒木被害があり，今なお爪痕が残る場所があります。平成28年８月には，１週間に３つの台風が北海道に上陸し，水害に見舞われました。また，冬場にあっては，「不要不急の外出を控える」暴風雪も心配されます。

あり得ないことが起きたときに備え，日頃から危機管理体制を整備することが大切です。

かつての学校では，緊急連絡についても連絡網を使っておりましたが，スピードと正確さという点では不十分さがありました。そのことを思い起こしますと，メールによる連絡体制は，児童の安全確保にとって大きな進展であったと思います。今後も，日常と異なる対応が必要な場面では，ご協力をよろしくお願い申し上げます。

10年前，当時の開校100周年記念事業協賛会でタイムカプセルの設置を企画されておりました。この度，当時の資料を改めて確認したところ，次の内容が記載されていました。

○　平成25年に在籍していた児童202名が，自分宛の手紙「10年後の自分へのメッセージ」を書き，宛先には当時の住所を記載すること。
○　手紙を入れたタイムカプセルは，施錠した上で校内に設置すること。
○　開封については，協賛会では立案せず，10年後の動向に委ねること。

手紙にはあらかじめ80円切手が貼られています。さすがに，10年後に84円になるとは想定されていなかったようです。現在の学校といたしましては，夢のある企画をされていた過去の趣旨を踏まえ，各児童の手紙を本校の封筒に入れ，10年前の趣旨を添えて，近日中に記載された住所に郵送することといたします。84円切手は，開校110周年事業等の予算から拠出いたします。手紙ができるだけ多くの卒業生の手元に届くよう願っています。